

CKD啓発  
動画

認知度高め早期発見へ

腎臓病の怖さ ユーチューブで配信

CKD(慢性腎臓病)の早期発見に取り組むCKD啓発動画研究会(代表幹事・安藤康宏自治医科大学腎臓内科教授)は、動画投稿サイト「ユーチューブ」で啓発動画を配信している。特に関心の薄い若者や女性層に強く訴える。

CKDは、心筋梗塞や脳卒中など心血管疾患の危険因子で、放置すると末期腎不全につながる。透析治療や腎移植に陥る。推定患者数は約1330万人。だが、自覚症状がななく、早期発見方法の尿検査では尿タンパクの陽性を指摘されても再検査を受ける人は約半数というデータがあった。研究会が首都圏で行った街角アンケートでも認知度はわずか4%で、うち10代は1人もCKDを知らなかった。門医と映像クリエイターが共同で制作。インパクトの高い特殊演出を施した「入門編」や、「解説編」、女性目線のミニドラマ作品をそろえ、6月末にも20

30代向けの4作目を提供。電話などで視聴できる。研究会ホームページ(<http://www.ckd.jp/>)でも紹介している。